

日時：2013. 3. 10 (日) 曇り後雪

参加：堀亀 (L) 佐々木裕 (記) 2名

河内長野7時30分、堀亀車で出発。前日の土曜日は、ピリカンで暑いくらいでしたが、今日はどんなものか、雪の量は？(予報、午後は風と雨)。今日は天候不良を考え、法力峠から稲村ヶ岳のピストンにする。

309号線を快調に走り、9時 洞川駐車場着。途中の川迫川から山上川には、釣り客の車でいっぱい、今日10日がアマゴ解禁初日、4tの成魚放流をしたようである。

洞川駐車場には先着車はほとんど見当たらないようだ。準備後、陀羅尼助の看板と大峰講の宿泊所が並ぶ洞川の温泉街を抜けて稲村ヶ岳登山口へ向かう。ゴロゴロ水取水場の手前から入山するが、雪の気配は全く無い。

ゴロゴロとした浮石で歩きにくい登山道を抜けると整備された道になり、少しずつ残雪が現れる。法力峠は観音峰への分岐でもあり、いよいよ氷雪の残った滑りやすい道となる。途中で女性3名のパーティーが早くも下山してきて声を交わすが、滑りやすい道と天候の悪化予想で中断してきたとの事、気を入れて歩く事にする。細い流れで喉を潤し、その少し先でアイゼンを付ける。

このあたりから、道に迷ったらあの山を目指せと云われている、高く突き出たバリコヤノ頭を見上げる事ができる。風が出てきて花粉や黄砂、有害物質が吹き飛ばされているようで一安心？。

稲村小屋(冬場は閉鎖)の軒先を借りて昼食。ゆっくりしていると、雨音と風音のダブルパンチ。ガスも視界を覆いこのまま稲村ヶ岳を目指すかどうか迷うが、初志貫徹先に進む事に腹を決める！。

ここからはシャクナゲの枝に邪魔されながら、細い氷雪道のトラバースを注意して進む。20分程で大日山分岐、もう20分程で展望台のある稲村ヶ岳山頂(1726m)、予想通りガスでも見えないが記念写真を撮って早々に退散。晴れた日には良い展望らしい、また来よう！。

帰りは、ザラ目のような霰の中をしっかりとアイゼンの爪をきかせて歩く。高度を下げるにつれて雨となるが、極弱いもので助かる。ゴロゴロ水取水場手前の舗装に出て洞川駐車場へ。

洞川温泉でゆっくり温まって帰阪。堀亀リーダー、ゴマ豆腐売り切れで残念でしたが、次回またという事で、楽しい山行ありがとうございました。

#### <参考タイム>

洞川駐車場 9:10—10:40 法力峠—11:10 水場—12:05 稲村小屋(昼食) 12:45  
—大日山分岐—13:30 稲村ヶ岳—14:00 稲村小屋 14:15—16:25 洞川駐車場

<行動 7:15>